



鍛えの夏 未来部の成長の夏

きょうから「未来部躍進月間」
(8月31日まで)。「世界の宝」
である後継の友の成長を、皆で祈り、
応援する季節が来た。

未来部の「鍛えの夏」は学会の
伝統。その模範を、池田名誉会長
は示してきた。思い出を残してあ

げたいと、夏季講習会や各地の研
修会・会合で、未来部員と直接、
触れ合い、薫陶の歴史を刻んだ。

1991年6月、ドイツ・フランク
フルトを訪れた名誉会長は、馬も
闊歩する緑の園で、大樹を撮った。
木々の成長は、一日では分からな

い。しかし、長い歳月のうちに、
若木も、見上げる大木となる。未
来部の成長も同じであろう。

御書に「木をうえ候には大風吹
き候へどもつよきすけをかひぬれ
ば・たうれず」(1468)と。後継
の大樹を守り支え、育もう。

躍動の夏、鍛えの夏だ。
未来部の友が はつらつと学び、
成長してくれている。
伸びゆく鳳雛の歌声を聞けば、
無限の希望が広がる。

結果はいいから、

まず何か始める。
何か努力してみる。
そういう「逃げないくせ」
「努力するくせ」を
つけることである。
それが 勉強の目的とさえ言える。
「学ぶ習慣」がついた人は、



インドの「緑の革命」の父・スワミナサン博士を、富士中学生合唱団と共に歓迎する池田名譽会長（聖教新聞本社で）

何でもできるからである。

青春に
取り返しのつかないことなど
絶対がない。

むしろ、青春の失敗とは、

失敗を恐れて

挑戦しないことである。

また、自分で自分を

あきらめてしまうことである。

過去は過去、未来は未来だ。

つねに「さあ、きょうから！」

「これから！」「今から！」

「この瞬間から！」と

未来を見つめて進むことである。

未来部の皆さんは

一人も残らず、

民衆のために戦う

偉大な人間になってもらいたい。

これが私の願いである。

人間の「心」には

大宇宙をも包みゆく

大きさがある。

一人一人が

自分自身の「心」という

宇宙を光り輝かせていけば、

地球という星も、

もっと素晴らしい世界に

変えることができる。